

ほえ美



*** ~ 夏を食す ~ ***



今年には新型コロナウイルスの影響により、例年行ってきました施設の多くの行事を見合わせるようになりました。しかし、苑内ではできるだけご利用者の皆様に楽しい生活を過ごしていただけるようにと、7月16日の昼食に「🍷（おにぎり）パイキング」を、7月21日の土用の丑の日には、「うなぎの蒲焼き」を食しました。普段建物のなかに入ると、季節の移り変わりを肌で感じる事が少ないような気がしますが、自然の風景や外気、そして旬の食材等で季節を感じることも大切だと思っています。



7月4日に発生した人吉・球磨地方を中心とした大雨による被害が目を追うことに甚大なものとなってきて、私たちが所属する熊本県老人福祉施設協議会の会員施設でも、多くの尊い命が失われました。被災施設で働いておられる職員も被災され、なかには自宅が「床上浸水」または「家屋の倒壊等」により自らの生活基盤が破壊されている方もおられることから、緑新会では、衣類等の提供を職員に呼びかけ、7月14日に支援物資等を拠点施設である錦町の施設へ届けました。ここ数年、「50年に1度」とか「今まで経験したことのない」と言った言葉をよく耳にします。天草地域においても、いつ災害がおきるかわかりません。直接の人的支援が困難な場合に、「今、自分たちに何ができるか?」ということを自問自答しながら側面からの支援を行っていきたいと考えています。

自分達に
今できること